

民進党要望項目一覧

平成28年度9月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>1 県管理河川の除草、しゅんせつ等の維持管理にかかる住民要望に対応するため、増額補正により十分な予算を確保するとともに、抜本的な対策を行うこと。</p> <p>また、鳥取県版河川・道路ボランティア促進事業により河川の維持管理が実施されているが、ボランティア実施者の高齢化により活動が困難になりつつある。ついては、今後の対策を検討すること。</p>	<p>河川の機能を適正に維持・保全するため、河川断面の阻害率や沿線環境への影響等を考慮して優先順位をつけ、河床掘削、河川伐開等を実施しているところであり、河川巡視や住民要望等を踏まえて河川管理上の支障になるなど緊急な対応が必要な箇所については、補正予算等により必要な対策を行っていく。</p> <p>【9月補正】河川維持管理費（河川伐開） 18,000千円</p> <p>今後も河床の変化や樹木の繁茂状況を把握しながら計画的に必要な河床掘削、河川伐開を行い、適切な河川の維持・保全に努めていく。</p> <p>また、河川・道路ボランティアの活動を持続可能なものとしていくためには、若者の参加、参画を促進する視点が必要であることから、今年度、県内の大学に当該事業の概要を説明し学生の参加・参画の呼びかけを行ったところである。今後も大学との連携をさらに進めるとともに、必要な対策について検討を進めたい。</p>
<p>2 ゲーム解放区鳥取砂丘には多くの来訪者があるが、最寄りの自動販売機の売り切れにより水分補給ができない等、来訪者へのもてなし対策が十分ではない。ついては、来訪者の熱中症予防と顧客満足度を高めるような対策を検討すること。</p>	<p>7月25日に行った「解放区宣言」により、観光客はゲームを楽しみながら広範囲を散策し、砂丘植物の観察をしたり、砂丘沖に漁り火が広がる景観に感動する様子が見られるなど、これまで以上に砂丘の魅力に触れていただいている。</p> <p>他方、熱中症予防を徹底するため、砂丘入口の休憩施設に自動販売機を設置している管理者に対し、飲料の補充頻度をさらに高めていただく等の協力を要請しており、さらに徹底したい。その他、引き続き、駐車場料金所での注意喚起及び啓発チラシの配布、砂丘入口での注意喚起パネル掲出、砂丘レンジャーによる声かけ、周辺商店街の協力による各店舗での注意喚起パネルの掲出等を行う。なお、砂丘の急斜面を走って登り降りされて体調を崩される方もあるため、こういうことにも留意しながら、よりきめ細かく注意喚起を行う。</p>
<p>3 労働力不足を背景に外国人労働者（外国人技能実習生）が増え続けている。しかし、トラブルを抱えた際の相談窓口外国人向けのコーナーが整備されていない。県下の労働局や労働基準監督署に外国人対応ができるよう国に働きかけること。</p>	<p>鳥取労働局では外国人労働相談等があった場合は、相談者の言語に応じた通訳が配置されている労働局に電話相談を転送、或いは県国際交流財団から通訳の派遣を受けるなどして対応しているところであり、今後も機会をとらえて、鳥取労働局等における外国人対応の充実について国に働きかけていく。</p>
<p>4 施設の老朽化が著しい畜産試験場の改築整備を早急に行うこと。</p>	<p>平成27年度から畜産試験場の防疫体制強化の観点から新設進入路、車両消毒施設、外来者駐車場の整備を進めてきたところである。</p> <p>9月補正予算では、その一環として旧乳牛舎・旧乳牛育成牛舎の解体・撤去工事、さらに国の経済対策に係る補正予算を活用し、貴重な種雄牛を守るため場内でのエリア分けを明確にし、旧職員宿舎を解体・撤去してその跡地に乳牛関係施設の移転整備等を内容とする事業を検討している。</p> <p>今後も国の補助制度などを活用しながら順次、整備を進めていきたい。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
	<p>【9月補正】畜産試験場家畜防疫体制強化事業 10,629千円 【9月補正】畜産試験場施設整備事業 238,599千円</p>
<p>5 低コストハウスに対する農家の評価は高く、導入を希望する農家が多い。ついては、低コストハウス導入の追加予算を確保すること。</p>	<p>国経済対策補正の産地パワーアップ事業を活用し、引き続き鳥取型低コストハウスの推進を図る方針である。 【9月補正】鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業 140,000千円</p>
<p>6 砂丘らっきょうは個々の農家が個別で根切り等の作業を実施しており、労働力の確保等が困難になっている。また、ほ場の傍らに設置されたテントで出荷調整作業が行われるケースもあり過酷な労働環境も見受けられる。ついては、砂丘らっきょうの共同集出荷場の整備等による作業の共同化を検討すること。</p>	<p>根切り等の作業の共同化については、共同集出荷場の施設整備等を含め、JA、生産部及び町等と検討していきたい。 なお、らっきょう根切り機の開発について、鳥取大学が着手しており、開発情報をJA、生産部に情報提供しながら、根切り機の早期実用化を目指すとともに、らっきょうの乾燥及び出荷の作業について、JA鳥取中央が共同利用の乾燥施設等を新しく設置することを計画しており、国補正の産地パワーアップ事業を活用して支援することを検討している。 【9月補正】産地パワーアップ事業 286,000千円</p>